



発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口 6,811人
男子 3,358人
女子 3,453人
世帯数 2,123戸
(14年11月末現在)

秋空のもと 地域と世代を繋ぐリレー 竜丘市民運動会



新種目のパン食い競争

聖火が、地区内を小学生の手よりリレーされ、アンカーの長野原分館が会場を一周し、聖火台に点火。開会式では、小林比呂志さん(時又体育委員)の力強い選手宣誓で競技を開始しました。

競技は、小学生や保育園児のかけこで始まり、竜丘の将来を担う子どもたちが元氣いっぱいゴールを目指しました。

「素敵なカップルPart2」は、今年から種目が変わり、借り物ならぬ借り人競争は同じですが、借り人も一緒になって、フライングディスクを、逆さに持った傘の中へ投げ込み、その枚数を競う種目となりました。なかなか方向の定まらないフライングディスクに四苦八表されました。

昼食時には、明星学園による仮装舞踊や青少年クラブの活動の様子などが発表されました。

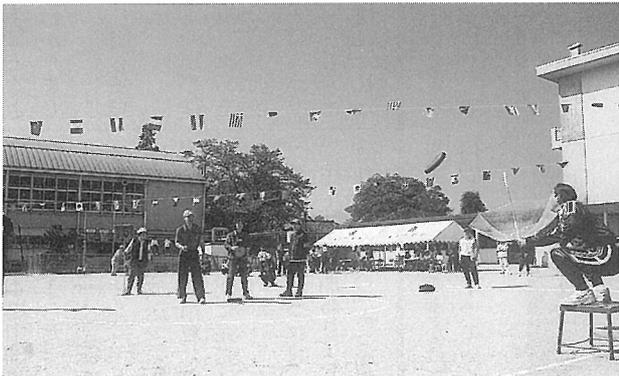
「満水リレー」は、昨年まで「メドレー」の中の競技でしたが、分館対抗種目として独立しました。ペットボトルへお椀で水を運び一杯にする速さを競いますが、途中で引くクジによって水

苦しながらも借り人になって来賓の方も頑張っていました。

午前の最後を飾る「オーラスターリレー」では、各分館を代表する草駄夫が、スピード感あふれるレースを展開し、種目が終わった時点で長野原が一位、昨年優勝の時又が続く順となりました。

昼食時には、明星学園による仮装舞踊や青少年クラブの活動の様子などが発表されました。

「満水リレー」は、昨年まで「メドレー」の中の競技でしたが、分館対抗種目として独立しました。ペットボトルへお椀で水を運び一杯にする速さを競いますが、途中で引くクジによって水



素敵なカップル "Part2"

十月十三日秋の定番、竜丘市民運動会が、澄み渡った秋空のもと竜丘小学校グラウンドで行われました。日中には気温も上がり汗ばむほどの陽気で、運動をする絶好のコンディションとなりました。

秋の夜長を美しい調べで すみだ弦楽四重奏団

「すみだ弦楽四重奏団」による、ふるさとコンサートが、去る十一月十七日竜丘公民館大ホールにて開催されました。

新日本フィルハーモニー交響楽団の若き四人で結成され、ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロによる演奏会。当日は、会場いっぱい子どもから大人まで多くの参加者が集まりました。

始まりは、竜丘コーラスグループとの共演による女子ムカデが一位桐林、二位時又となり、まだまだ男子ムカデまで、勝敗がわかりません。観客席総立ちの応援の中、見事決勝のテープを切ったのは上川路でした。

応援合戦も各分館小学生が中心となって、チアガールやソーラン節、太鼓など様々なアイデアで熱のこもった応援がされました。

なお、応援合戦の大賞には長野原分館が選ばれました。

今年の運動会は、子どもたちが競技の選手や応援団として積極的に参加して、会場を盛り上げていました。世代を越えて地域の親睦を深められ、また、日頃の運動不足も実感できた一日となりました。



「荒城の月」進行役の軽妙な楽器の紹介などもあり、終始リラックスした雰囲気の中で、最高級の室内音楽を楽しむことができました。

プロの演奏家ということもあって、大きなアンコールの拍手が起ころ、演奏家の方も、「お祭りマンボ」でアンコールにこたえてくれました。

秋の夜長に、プロの奏でる音色に浸って参加者全員なりました。

総合結果

- 優勝 97点 駄科分館
- 準優勝 91点 上川路分館
- 第3位 88点 時又分館
- 第4位 84点 長野原分館
- 第5位 56点 桐林分館

環境にやさしい暮らしを 市政懇談会開催

去る九月二十五日、竜丘公民館を会場に、「竜丘地区市政懇談会」が、田中市長を始め市関係者二十数名を含む、百余名の参加者により開催されました。

今年、新しくリノベーションの建設や水辺の楽校のオープンなど、環境に関わる様々な整備が進むのを受け、「竜丘から環境を考えよう」のテーマで開かれました。

全体会は、市側から「変革期における市町村の在り方研究会」の報告で、市町村合併問題について説明があった後、分科会に分れて話し合いがもたれました。

第一分科会は、「ゴミゼロ」に向けて地域でできること」と題し、助言者である飯田市環境アドバイザーの市橋恵美さんから、環境にやさしい暮らし方の提案がありました。参加者は、買い物の際スーパリーの袋を断る方法を、ペアになってロールプレイングしました。

第二分科会は、「食が育む豊かな環境、豊かな暮らし」と題し、環境に優しい農業を実践している美沢勉さんが、助言者として体験



美沢さんが無農薬栽培で育てた小麦を原料にした手作パンを、参加者で試食しながら、美沢さんが手がける農業について、説明を聞きました。参加者からは、本場に無農薬で作物が栽培できるのでは驚いたとの声も聞かれました。

第三分科会は、「子どもと自然」と題し、小学校の児童が意見を述べました。

一人の親として子どもたちに望むこと、あなたの場合は何ですか？

- ・勉強はできないと困る。
- ・運動もできた方がよい。
- ・絵も上手に字も丁寧。
- ・友だちを優しく思いやる。
- ・自分の意志を持って。
- ・次から次へと欲が出て、あれもこれもと期待する。
- ・ついつい小言も多くなる。
- ・「早くしなさい。」
- ・「勉強しなさい。」
- ・「頑張らなさい。」
- ・友だちと比べたり、兄弟と比べたり。親の姿勢としてよくないとわかっていくけど、また同じことのくり返し。そんなことないですか。
- ・「ちょっと疲れたなあ」と腰を下ろしていると、「どうしたの。大丈夫？」と優しく声をかけてくれる。
- ・「肩たたいてあげる。」
- ・「こっと笑いかけてくれる。雨の日も風の日も元気に学校に出かけて行く。本が好きで夢中になって読んでる。」
- ・泥だらけになってボールを追いかけてる。
- ・ものさしは一つではない。いろいろなものさしで見れば、いいところもいっぱい見えてくる。そう、みんな違って、みんないい。
- ・あなたはあなたらしく、いつも元気でいてほしい。いつも笑顔でいてほしい。自分らしく輝いてほしい。
- ・健康で、「いきいきと自分らしく」
- ・親の願いは本当はシンプルなものかもしれない。
- ・新学期指導要領の下、週五日制が始まり、子どもたちにとくましく生き抜く力が求められている。
- ・ナンバリーよりオンリー1。そんなふうには育つよう親として見守り続けたい。

